



めぐみ在宅地域緩和ケア研究会

NEWS LETTER

APR 2007 NO.1

めぐみ在宅クリニック (在宅療養支援診療所)

〒246-0031 神奈川県横浜市瀬谷区瀬谷 4-30-2

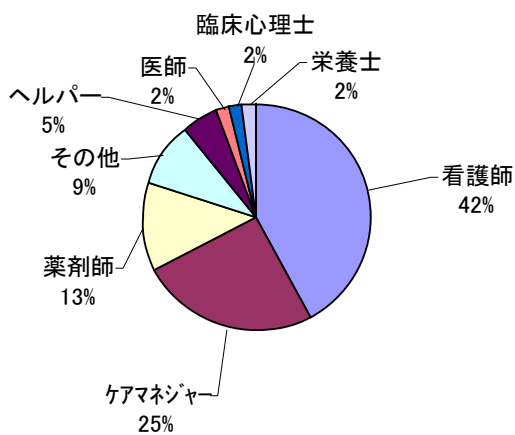
TEL:045-300-6630 FAX:045-300-6631

E-MAIL: megumi_zaitaku@miracle.ocn.ne.jp

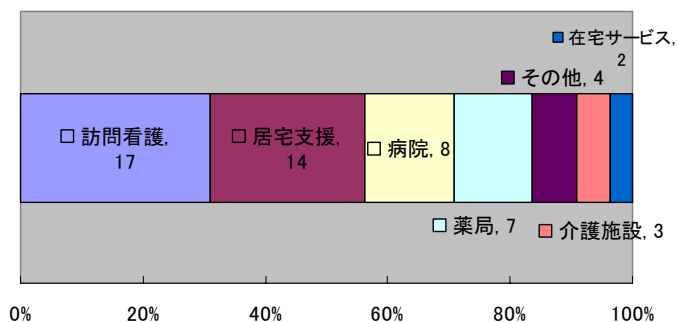
研究会参加者の皆様へ

第1回めぐみ在宅地域緩和ケア研究会を開催するにあたり、多数の参加申込をいただきました。クリニックの定員により不本意ながらお断りさせていただいた方々が勢い多かったです。また、少しでも多くの方々にご参加いただきたいと考え、1事業所2名までというお願いをしております。皆様のご協力に感謝し、紙面を借りてお礼申し上げます。

研究会参加申込者の職種内訳



研究会参加申込者の事業所内訳



今後のご案内

第2回(5月15日)は定員により締切りました。第3回以降の研究会ご案内につきましては、ホームページを中心に情報を更新しております。詳しくはクリニックへお問い合わせ下さい。

研究会以外の講演・研修等

5月16日・30日 上大岡臨床心理センター主催

心を学ぶ連続講座～対人援助の感性を磨く～小澤竹俊

場所:ウイリング横浜 時間:18時30分～20時30分

講座についてのお問い合わせは、TEL:045-846-1822 まで。

6月15日 戸塚区地域包括センター主催

～ホスピスから学ぶ対人援助～ 場所:戸塚地域会議室4F

対象:主として戸塚区で活動している介護支援専門員

参加費:無料 申込・問い合わせ先 TEL:045-825-3467(鈴木)

参考資料(原稿執筆等)

南江堂「内科」(2007年3月)心不全予防-その最前線を探る-
医学書院「訪問看護と介護」2006年12月

ケアマネジャーに求められる資質と継続教育の必要性
医学書院「訪問看護と介護」2007年04月

がん患者の希望を受入れ実現した在宅での看取り
へるす出版「臨床看護」2007年4月号 スピリチュアルケア
中央法規出版「りんくる」2007年4月号

診療状況報告

昨年10月在宅療養支援診療所として開業し、10月から3月までの半年、延べ690回の訪問を行い、現在まで51名(内在宅死:37名)の患者さんとお別れをいたしました。

【在宅で永眠された患者さん37名の内訳、女性18名、男性19名、最小年齢7歳、最高年齢86歳、平均70歳、平均訪問回数9回】今後も地域の訪問看護ステーションや、薬局はじめ多くの皆様と連携し質の高いケアを提供していきたいと考えております。簡単ではありますが、下記の通りご報告させていただきます。

月	10	11	12	1	2	3	下期計	月平均
外来患者数	142	201	195	152	156	184	1030	171.7
訪問診療回数	83	101	112	100	150	144	690	115.0
永眠者(在宅)	2	9	4	3	10	4	32	5.3
永眠者(病院)	0	2	3	2	2	3	12	2.0



めぐみ在宅地域緩和ケア研究会

NEWS LETTER

MAY 2007 NO.2

めぐみ在宅クリニック (在宅療養支援診療所)

〒246-0031 神奈川県横浜市瀬谷区瀬谷 4-30-2

TEL:045-300-6630 FAX:045-300-6631

E-MAIL: megumi_zaitaku@miracle.ocn.ne.jp

第1回研究会のご報告

4月17日に第1回めぐみ在宅地域緩和ケア研究会を行いました。60名の他職種の参加者と、会話記録の事例検討を通じて、活発な意見交換がされました。

第1回研究会の様子



訪問診療のご相談について (詳細ホームページ掲載)

ご相談の流れとして、まずはクリニックへご連絡下さい。その際に、以下の4点をお知らせください。

① ご本人とご家族のプロフィール

② 今の状況について

(現在の食事量・現在の動ける範囲・現在の昼間の起きている時間・この3週間の変化)

③ 療養生活の場の希望 (現在と将来)

④ どのようなケアを希望しているか

もし、病状が悪く、早急な対応が必要な場合には、こちらから初回訪問にお伺いいたします。

訪問の範囲について

瀬谷を中心に、隣接の旭区・泉区・大和市・綾瀬市など。特に緩和ケアを必要とする場合には、ご相談に応じます。

今後のご案内

第3回(6月19日)参加者受付中です。以降のご案内につきましては、ホームページを中心に情報を更新しております。詳しくはクリニックへお問い合わせ下さい。

研究会以外の講演・研修等

5月16日・30日 上大岡臨床心理センター主催

心を学ぶ連続講座～対人援助の感性を磨く～小澤竹俊

場所:ウイリング横浜 時間:18時30分～20時30分

講座についてのお問い合わせは、TEL:045-846-1822 まで。

6月15日 戸塚区地域包括センター主催

～ホスピスから学ぶ対人援助～ 場所:戸塚地域会議室4F

対象:主として戸塚区で活動している介護支援専門員

参加費:無料 申込・問い合わせ先 TEL:045-825-3467(鈴木)

6月28日 栄区ケアマネジャー連絡会主催

～地域緩和ケアチームを目指して～ 場所:栄区役所4F

問い合わせ:中野地域ケアプラザ (穴井)

参考資料(原稿執筆等)

へるす出版「臨床看護」2007年4月号 スピリチュアルケア

中央法規出版「りんくる」2007年4月号

学習研究社「教育ジャーナル」2007年7月号

診療状況

月	06.10～3計	2007.4	累計	月平均
外来患者数	1230	200	1430	204.3
訪問診療回数	861	171	1032	147.4
永眠者(在宅)	43	11	54	7.7
永眠者(病院)	15	3	18	2.6

皆様からのご意見をおまちしております!

どんな条件を整えば、安心して地域で看取りが提供できるのでしょうか?

例:独居の高齢者ががんになり、家もしくは施設で死にたいと希望された場合。

それぞれの職種や立場からのご意見を是非お寄せください。

FAX,メールなど小澤宛でお願いいたします。



めぐみ在宅地域緩和ケア研究会

NEWS LETTER

JUN 2007 NO.3

めぐみ在宅クリニック (在宅療養支援診療所)

〒246-0031 神奈川県横浜市瀬谷区瀬谷 4-30-2

TEL:045-300-6630 FAX:045-300-6631

E-MAIL: megumi_zaitaku@miracle.ocn.ne.jp

研究会のご報告

5月15日に第2回めぐみ在宅地域緩和ケア研究会を行いました。参加された方々の感想を一部掲載させていただきます。

研究会に参加して

『先生がご自分の会話記録を公開し、題材にする勇氣にも敬服しましたし、また自由に意見を述べられる雰囲気とそれを受け止められる幅の広さに改めて、すごいなと思いました。会話記録を読みながら、相談技術を磨くことの難しさと、自分の思考の癖や援助のくせのようなものがあることも、昨日は感じました。自分の面接を客観的に分析できるところまでいけるように、またそれを次の援助に生かせるようになりたいと思います。』

『前回のワークでは、患者さんの言葉を繰り返す(反復)することで、相手が安心して自分を理解者だと思ってもらえると分りました。ただ、ワークでは患者さんの言葉の最後に何かありそうなのにそれには触れていないのが、私は気になりました。あと、ドクターとケアマネの立場の違いも実感しました。ケアマネとして仕事をしなくても介護の知識としてケアマネの勉強をしたいと思っていたので、違う意味で勉強になりました。』

質の高いケアを提供するために、今後とも自由に意見交換の出来る場として、毎月継続して開催していきたいと思えます。皆様のご意見ご感想は、お気軽にクリニックまで。

今後のご案内

第4回(7月17日)参加者受付中です。以降のご案内につきましては、ホームページを中心に情報を更新しております。詳しくはクリニックへお問い合わせ下さい。

研究会以外の講演・研修等

6月28日 栄区ケアマネジャー連絡会主催
～対人援助の感性を磨く～ 場所:栄区役所4F
問い合わせ:中野地域ケアプラザ(穴井)

6月30日 都筑区第11回事例発表会 基調講演
テーマ～支える～場所:都筑区医師会館 2階会議室
問い合わせ:都筑医療センター在宅事業部(松田)

7月6日 多摩市健康づくり講習会
～ホスピスから学ぶいのちの教育～場所:関戸公民館8階
問い合わせ:多摩市教育委員会学校保健係(担当:豊田)
042-338-6875

診療状況

平成19年度

月	1	2	3	4	5	計	月平均
外来患者数	152	156	184	200	200	892	178.4
訪問診療回数	100	150	144	171	188	753	150.6
永眠者(在宅)	3	10	4	11	7	35	7.0
永眠者(病院)	2	2	3	3	3	13	2.6

訪問中心に診療をし、訪問回数は増加しています。今後とも質の高いケアを大切にしていきたいと考えております。6月19日現在、訪問患者数は69名です。本年に入り、48名の患者さんとお別れをしてきました。そのことを覚え、秋には遺族会を予定しております。お手伝いくださる方はスタッフまでお声掛けください。

ホスピスから学ぶいのちの教育

小・中学校へ小澤医師の行っている「ホスピスから学ぶいのちの教育」においては、ひとりでも多くの皆さんに伝えるために、今年より講師養成の準備や運営にあたってきました。6月1日、金沢区小田中学校において、初めての非常勤講師(内田如里先生)による授業が行われました。

小澤 院長より

開業して8ヶ月がすぎました。おかげさまで多くの患者さん・家族と出会うことができました。そして、患者さんを通して多くの訪問看護ステーション、ケアマネ、ヘルパーさんと知り合うことができました。ホスピスで働いていた時と同じように、熱い志を持つ仲間が地域にいることを心から嬉しく思いました。これからも、多くの仲間と連携をとりながら、安心して地域で最期まで過ごせるように、質の高いケアを展開していきたいと願っております。

参考資料(原稿執筆等)

月刊ガバナンス 平成19年8月号 発行ぎょうせい

TDK コア「ホスピスから届きたいいのちの授業」

DVD(文部科学省選定) 監修:小澤竹俊 推薦:押谷由夫



めぐみ在宅地域緩和ケア研究会

NEWS LETTER

JULY 2007 NO.4

めぐみ在宅クリニック (在宅療養支援診療所)

〒246-0031 神奈川県横浜市瀬谷区瀬谷 4-30-2

TEL:045-300-6630 FAX:045-300-6631

E-MAIL: megumi_zaitaku@miracle.ocn.ne.jp

在宅療養支援診療所に係る報告について

「在宅療養支援診療所」の届出を行っている医療機関として、平成18年7月1日より、平成19年6月30日までの期間について、神奈川県社会保険事務局保険課に報告書の提出を行いました。この場をおかりしてご報告いたします。

報告内容

期間:平成18年7月1日～平成19年6月30日

(クリニック開業10月からの報告となります)

平均診療期間:3ヶ月

合計患者数(訪問診療):151名

うち、死亡患者数83名、(死亡診断を行った患者数62名)

『内訳:医療機関等での死亡数21名、医療機関以外での死亡数62名(自宅61名、その他1名)』

直近3ヶ月の訪問実施回数について:訪問回数473回

内、往診53回、訪問診療416回、訪問看護4回

今後のご案内

第5回(9月18日)参加者受付中です。以降のご案内につきましては、ホームページを中心に情報を更新しております。詳しくはクリニックへお問い合わせ下さい。

.....(注意! : 8月はお休みとなります。ご注意ください。)

研究会以外の講演・研修等

7月20日(金) 介護サービス事業者セミナー

午後14時～16時 会場:中区産業貿易センタービル会議室
問い合わせ:ホクゼンアメニティサービス 担当:北川・遠藤様
045-625-4031

7月29日(日) 在宅ホスピス緩和ケア公開講座

～地域緩和ケアチームを目指して～場所:千葉大学
問い合わせ:NPO法人千葉・在宅ケア市民ネットワークピュア
070-5554-3734

8月26日(日) 弥生苑10周年納涼祭 15時～16時半

「高齢者の看取りについて」
問い合わせ:弥生苑 金子様

非常勤医師 喜多先生からご挨拶

6月より週一回訪問診療に携わらせて頂くことになりました。昨年10月に勤務先で小澤先生の講演をお聞きしたことがきっかけとなり現在に至ります。今まで病院内での看取りの経験だけであつた自分にとって日々新たな発見と勉強の連続の日々です。昔から「一期一会」という言葉が好きなのですが、ここに来させて頂くようになり、いろいろな方との関わりの中でこの言葉の意味を実感する毎日です。よろしくお願いいたします。

お寄せいただいたご意見(りんくる掲載時)

◆「誰かの支えになろうとする人にこそ、一番支えを必要としている人」が印象に残りました。本当にそうですよね。しかし介護現場ではまだまだその体制がとれていないように感じています。

[男性●病院・医療ソーシャルワーカー]

◆ターミナルケアは前から興味をもっていました。私も3年間勤めたGHで一人の男性を看取りましたが、結局最期は病院でという形でした。今はまだターミナルの勉強にまで手が回っていませんが、もっと多くの話を聞かせていただきたいです。[男性●デイサービス・介護職]

◆今回終末期ケアを取り上げていただいたことは、私には未知の分野でしたので助かりました。私がヘルパー講習会や介護福祉士の実務講習会でも、終末期ケアについては一切触れられませんでしたので。[女性●特養・介護職]

◆医師ですら不安なホスピス、介護職も不安を抱えながら取り組むべき課題と考える。[男性●グループホーム・介護職]

◆認知症について生活を通して再度みんなで支えあつて行く仕組みを考えて行くきっかけになった。[女性●特養・ケアマネ]

参考資料(原稿執筆等)

月刊ガバナンス 平成19年8月号 発行ぎょうせい
TDK コア 「ホスピスから届きたいのちの授業」DVD
(文部科学省選定) 監修:小澤竹俊 推薦:押谷由夫
『こころの友』9月号 日本キリスト教団出版局

※ 休診のお知らせ

8月13日～18日夏期休暇となります。

(訪問診療は個別にご相談させていただきます)



めぐみ在宅地域緩和ケア研究会

NEWS LETTER

SEP 2007 NO.5

めぐみ在宅クリニック（在宅療養支援診療所） 〒246-0031 神奈川県横浜市瀬谷区瀬谷 4-30-2

TEL:045-300-6630 FAX:045-300-6631

E-MAIL: megumi_zaitaku@miracle.ocn.ne.jp

在宅における保健・医療・福祉における連携モデル事業

横浜市「在宅における保健・医療・福祉における連携モデル事業」に応募し、選定されましたのでご報告いたします。

報告内容

協議会名:めぐみ在宅緩和ケア研究会

めぐみ在宅クリニック・瀬谷区医師会立訪問看護ステーション

薬局瀬谷・NPO 法人ワーカーズわくわく

期 間:平成 19 年 9 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日

- 内 容: 1. デスケースカンファレンスの実施(月2度)
 2. 地域緩和ケア研究会の実施(月1度)
 3. 遺族調査

クリニックからお知らせ

平成19年8月より、訪問時の交通費を改訂いたしました。通常訪問診療1回あたり、5キロ以内 1,000 円、5キロ以上 3,000 円。深夜時間帯(夜 22 時～朝 6 時まで)は5キロ以内 3,000 円、5キロ以上 6,000 円となります。尚、医療費のご負担のない方は、交通費のご負担もございません。

詳しくは医療事務(宝田)までお問い合わせください。

診療状況

月	1	2	3	4	5	6	7	8	計	月平均
外来患者数	152	156	184	200	200	161	182	143	1378	172.3
訪問回数	100	150	144	171	188	189	174	188	1304	163.0
永眠者(在宅)	3	10	4	11	7	12	4	6	57	7.1
永眠者(病院)	2	2	4	3	3	1	2	0	17	2.1

遺族会:追想の集い

平成 19 年 10 月 7 日(日) 12:00～15:00

三ツ境相鉄ライフ4F コミュニティサロン

詳細はスタッフまでお問い合わせください。

著書のご案内



いのちはなぜ大切なのか

ちくまプリマー新書 067

著者/訳者名 小澤竹俊

出版社名 筑摩書房

発行年月 2007 年 09 月

サイズ 125P 18cm

価格 714 円(税込)

9月に新しい書籍が出版されました。

今後の予定

第6回めぐみ在宅緩和ケア研究会(10月16日)参加受付中です。デスケースカンファレンス(月2回火曜日13時30分～14時30分)につきましては、かかわっていただいた事業所の方へ、クリニックよりご連絡させていただいております。

研究会以外の講演・研修等

9月20日(木) 14:30～17:30 高津市民会館

介護支援専門員専門課程 研修「主治医との連携」

9月26日(水) 14:30～17:30 関内ホール

介護支援専門員専門課程 研修「主治医との連携」

10月6日(土) 済生会市民公開講座

「ホスピスから学ぶいのちの教育」

問い合わせ先:静岡済生会総合病院総務管理課

054-280-5000

11月4日(日) 明日の医療を考える-薬剤師の更なる貢献-

神奈川県立音楽堂 問い合わせ先:神奈川県薬剤師会

参考資料(原稿執筆等)

医学書院 看護教育 2007年9月11日

「人が生きる現場」～理解することよりも理解者であることを～



めぐみ在宅地域緩和ケア研究会

NEWS LETTER

OCT 2007 NO.6

めぐみ在宅クリニック (在宅療養支援診療所)

〒246-0031 神奈川県横浜市瀬谷区瀬谷 4-30-2

TEL:045-300-6630 FAX:045-300-6631

E-MAIL: megumi_zaitaku@miracle.ocn.ne.jp

1年をむかえて

開業して1年が経過しました。開業して感じたことは、地域でも多くの苦しむ患者さん・家族がいること、そして、それを支えようとしている訪問看護ステーション、ケアマネジャー、ヘルパー派遣事業所、看取りを含めて最期までサービスを提供したいと願っている介護施設などがあることを知りました。決してめぐみ在宅クリニックだけでサービスを行っているではありません。同じ志を持つ仲間が地域にいることを大切にしながら、これからも質の高いサービスを提供していきたいと思えます。そのために、めぐみ在宅クリニック地域緩和ケア研究会(第2火曜日夜)、デスクースカンファレンス(第2第4火曜日昼)を通して、皆さんとともに学んでいきたいと思えます。

院長 小澤竹俊

第1回 追想の集い ご報告

平成19年10月7日(日)、第1回「追想の集い」を開催いたしました。この場をおかりして、ご協力いただきました事業者の皆様にお礼申し上げますと共に、ご報告させていただきます。

追想の集い(遺族会) 実施報告

平成19年10月7日(日) 12:00~15:00

三ツ境相鉄ライフ4F コミュニティサロン

対象:平成18年10月~平成19年6月までに永眠された患者さん93名のご家族
(訪問診療を行っていた患者さん、外来へ通院していた患者さん全てを対象)

方法:郵送にて案内を送付、同封の返信用葉書にて出欠を返送

返信:参加 35名のご家族(全体に対する割合37.6%)

不参加 36名のご家族(全体に対する割合38.7%)

未返信 22名のご家族(全体に対する割合23.7%)

参加者:34名のご家族 計64名

診療状況

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	月平均
外来患者数	152	156	184	200	200	161	182	143	92	1470	163.3
訪問診療回数	100	150	144	171	188	189	174	188	179	1483	164.8
永眠者(在宅)	3	10	4	11	7	12	4	6	5	62	6.9
永眠者(病院)	2	2	4	3	3	1	2	0	1	18	2.0

現在、訪問患者数 69名、(瀬谷区中心・泉区4名・旭区5名、緑区1名、大和市2名、座間市1名)

インフルエンザ予防接種のご案内

当院では、11月1日よりインフルエンザの予防接種を開始いたします。

対象者	窓口負担金
横浜市内在住 65歳以上の方	2,000円
横浜市内在住 60歳以上 64歳の障害者1級に該当される方	2,000円
横浜市内在住で 65歳以上の生活保護及び市民税非課税世帯に属する方(※)	無料
横浜市内在住で60歳~64歳の障害者1級に該当し、なおかつ生活保護及び市民税非課税世帯に属する方(※)	無料
上記に該当しない方(自費)	3,150円

(※)横浜市が発行する「インフルエンザ予防接種自己負担免除対象者確認書」を提出してください。

今後の予定

第7回めぐみ在宅緩和ケア研究会(11月20日)参加受付中です。
デスクースカンファレンス(月2回火曜日 13時30分~14時30分)につきましては、かかわっていただいた事業所の方へ、クリニックよりご連絡させていただいております。

研究会以外の講演・研修等

11月4日(日) 明日の医療を考えるー薬剤師の更なる貢献ー
神奈川県立音楽堂 問い合わせ先:神奈川県薬剤師会

その他

10月29日~11月2日(予定)

NHKラジオ「あさいちばん」健康ライフコーナー

10月30日発売 サンデー毎日(予定)

「暮らしと健康」11月号 予定



めぐみ在宅地域緩和ケア研究会

NEWS LETTER

NOV 2007 NO,7

めぐみ在宅クリニック (在宅療養支援診療所)

〒246-0031 神奈川県横浜市瀬谷区瀬谷 4-30-2

TEL:045-300-6630 FAX:045-300-6631

E-MAIL: megumi_zaitaku@miracle.ocn.ne.jp

第31回 死の臨床研究会 参加報告

11月9日より11日まで、第31回 死の臨床研究会が熊本県立劇場で開催されました。実行委員の皆様のご祈りが通じたことと思います。過去、何年も出ている死の臨床研究会ですが、非常に質の高い研究会になったと確信しております。

院長 小澤竹俊

初めての試み

ステージ上で、中学生に「いのちの授業」をおこない、その様子を客席からみるスタイルで、市民公開講座として実施いたしました。

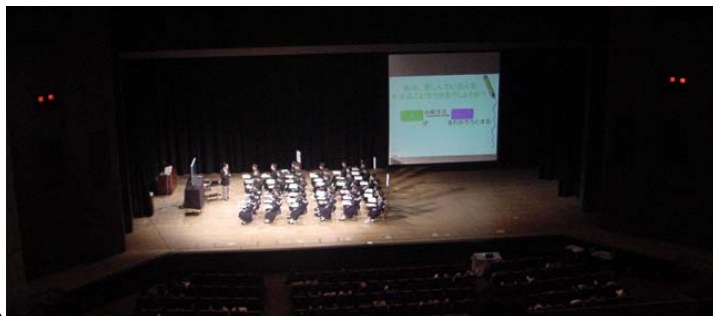


← 会場入口

↓ 会場内の様子



↓ ステージ風景



めぐみ在宅クリニックでは、診療を通して、地域での看取りを積極的に行うと同時に、人材育成を理念として活動しています。これから社会に出る若い人たちに、自分のためだけでなく、苦しむ人のために働く人が1人でも増えていくことにより、日本のどこにいても、どんな病気であったとしても、安心して最期を迎えることのできる社会に近づくと夢を描いています。熊本の皆さん、本当にありがとうございました。

診療状況

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	月平均
外来患者数	152	156	184	200	200	161	182	143	92	180	1650	165.0
訪問診療回数	100	150	144	171	188	189	174	188	179	205	1688	168.8
永眠者(在宅)	3	10	4	11	7	12	4	6	5	10	72	7.2
永眠者(病院)	2	2	4	3	3	1	2	0	1	1	19	1.9

遺族調査の実施について

昨年10月開院～9月末までに永眠された患者様(訪問診療を行った患者様99名)のご遺族に対し、本年11月遺族調査を実施しております。調査は無記名のアンケートとして郵送で実施、12月に集計し来年結果報告をさせていただく予定です。

尚、この調査は『横浜市 在宅における保健・医療・福祉の連携モデル事業』の助成を受けおこなっております。

情報提供のお願い

訪問診療を希望される患者様には、介護保険申請をされていない方や、担当ケアマネジャーが決まっていない方、施設を探されている方が多くいらっしゃいます。必要時には、ご連絡させていただいておりますが、あらためて、事業者案内の冊子・チラシ等ございましたら、クリニックスタッフへ数部お渡し下さい。患者様への情報提供として利用させていただきたいと思っております。

データの場合には、上記 E-mail へ添付の上送信いただければ幸いです。研究会受付につきましては、名刺ボックスを設置しておりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

今後の予定

11月28日 19:00～ シャローム横浜
『ターミナルケアにおける対人援助』

12月7日 NHK『特報首都圏』 放送予定

12月8日 13:30～15:30 藤棚地区センター
介護教室『ほのぼの』

1月12日 14:00～16:00 国士舘大学世田谷キャンパス
グリーンケア研究会

2月9日 午後 西公会堂
横浜市モデル事業報告会



めぐみ在宅地域緩和ケア研究会

NEWS LETTER

DEC 2007 NO.8

めぐみ在宅クリニック (在宅療養支援診療所)

〒246-0031 神奈川県横浜市瀬谷区瀬谷 4-30-2

TEL:045-300-6630 FAX:045-300-6631

E-MAIL: megumi_zaitaku@miracle.ocn.ne.jp

1年を振り返って

4月よりめぐみ在宅地域緩和ケア研究会として、月に1度地域で援助にあたる方々を中心に、会話記録をもとにした事例検討を行ってきました。9月より『横浜市 在宅における保健・医療・福祉の連携モデル事業』として行政の方々と交え、共に学ぶとともに、連携の必要性を模索しています。連携として、訪問時の様子などをご連絡いただく中で、今月はじめて看護師さんより訪問時の会話記録が届きました。小澤医師は嬉しいな～すごいね、と感動！自分のところでしかできないケアではなく、同じクオリティを地域で提供できること、夢が少しずつ近づいていることを実感できました。

そしてもうひとつ、昨年、大阪で開催された「死の臨床研究会」の2次会の席で、“いつか、緩和ケアが入試の試験問題になってね・・・”と小澤医師が夢を語っていましたが、この度、啓明舎という学習塾の模擬試験に小澤著書「いのちはなぜ大切なのか」が出題されました。中学受験を控えた小学生が、この本の一部を読んで学んでいます。小澤医師の夢がまたひとつかなった瞬間でした。試験問題を是非解いてみたい！お子さんの勉強のために！と思う方がいましたらスタッフまでお気軽にお声がけください。

診療状況

11月の診療報告

外来患者数 208名 (インフルエンザ接種のみを除く)
 訪問診療回数 171回 (インフルエンザ接種のみを除く)
 永眠者(在宅) 5名
 永眠者(病院) 2名

1月～11月までの月平均

外来患者数 168名
 訪問診療回数 169回
 永眠者(在宅) 7.0名
 永眠者(病院) 1.9名

年末年始について

12月28日(金)～1月6日(日)まで

外来診療はお休みとなります。

訪問診療については、個別に対応させていただきます。

また緊急時の対応は通常通りとなります。

プレスリリース

■ 12月7日(金)NHK特報首都圏

※ 撮影にご協力いただきました皆様ありがとうございました。

■ 白泉社 Silky 1月号増刊



小澤医師をモデルにした物語です。

●カラー60P

ホスピスの医師に取材した真実の物語

たちばないさぎ

始まりの終章(エピローグ)

—ホスピス病棟より—

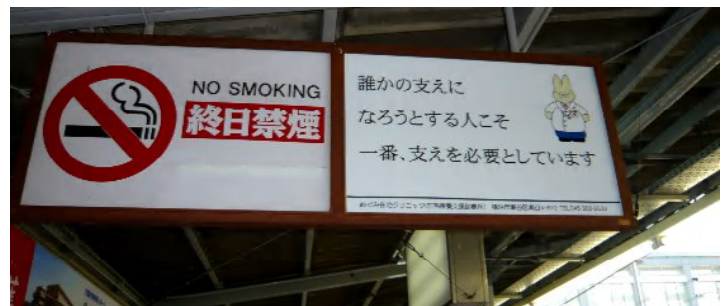
人生の終わりを満足して

迎える為のお手伝いをしたい…!

■ 暮らしと健康(2008年2月号)1月発売予定

■ 瀬谷駅(海老名方面ホーム)に下記看板を出しています。

お気づきでしたか?



スタッフ紹介

クリニックの理念にそって、それぞれ役割は違いますが、一緒に活動しています。今後ともよろしく願いいたします。

院長	小澤 竹俊
非常勤医師	喜多 かおる
看護師	佐藤 和子
医療事務	宝田 作子
医療事務	二階堂 一巳
受付	小澤 幸子
受付	黒澤 正子
非常勤講師	内田 如理
非常勤講師	三浦 有子
コーディネーター	大河内 泉